

地域家族食堂

～家庭における愛情機能を取り戻すために～

近年、子どもの暴力行為や小学校でのいじめが年々増加している。これらの問題の**主な原因**は、**家庭で愛を正しく受けられていないことから起きる精神的な乱れにある**と考えられる。しかし、核家族や共働きが多くなった現代において、どうしても親の帰りが遅く、家族で過ごす時間を取りたくても取れないのが現実である。そこで、今回提案する「**地域家族食堂**」によって、地域の様々な世代の人が集う昔ながらの三世代家族の食卓のような食堂を作り、**家庭の愛情機能を地域で補っていきたい。**

子どもの暴力行為の増化

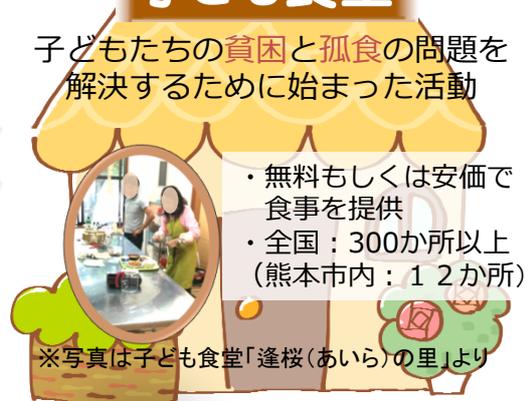
図-1 小学校における暴力行為発生件数の推移（文科省より）



背景：家庭の愛情機能低下による
子どもの精神的な乱れ

子ども食堂

子どもたちの**貧困と孤食**の問題を解決するために始まった活動



- ・無料もしくは安価で食事を提供
- ・全国：300か所以上（熊本市内：12か所）

※写真は子ども食堂「逢桜（あいら）の里」より

家庭の愛情機能を地域で補う食堂を作ろう！

地域家族食堂

①行政による経済支援



- ・子ども食堂を始めやすくなる！
- ・多くの人に周知できる！

②多様な世代の参加



親・祖父母・兄弟姉妹の愛をより多く感じることができる

③大学生の協力



- ・大学生の偏食の解決
- ・塾に行かせられない親にとって嬉しい

地域家族食堂
多くの子どもが集う

地域家族食堂での体験を通して



手伝いや親・祖父母孝行が習慣になる

その子どもたちが各家庭に帰り実践

子どもの健全な育成
家庭の愛情機能を地域で補う



オープンに悩みを相談し問題解決



親と地域の先輩方との繋がり

よかまち創り隊：井立田昌汰・遠藤雅治・山城裕孝